

「長年FP手帳を愛用している企業内FP」に贈る賞



全国共済水産業協同組合連合会
普及・研修部 さん

(左) 菊地 輝繁 部長
(右) 富井 真紀 調査役

税金の速算表や医療費控除の対象など
資料編をフル活用し相談業務に取り組んでいます



授賞理由について

弊社の人気商品である「FP手帳」は、おかげさまで今年で発売から29年になります。その感謝の気持ちを込めて、FP手帳を長年ご愛用いただいている方を表彰させていただきました。菊地さんをはじめ、JF共水連の皆さまにはFP手帳セパレートタイプを相談業務に不可欠なアイテムとしてご活用いただいています。そこで、この賞を贈らせていただきました。

INTERVIEW

——全国共済水産業協同組合連合会（以下、JF共水連）さんでは、いつからFP手帳を使っていますか？

菊地 JF共水連では、2010年からFP手帳を採用しています。私どもは、協同組合組織であり、漁業協同組合員等に向けて共済や資産運用の普及・啓蒙を行っているのですが、組合員であるお客さまから相談を受けた際、アドバイスを行うためのツールとして、FP手帳は非常に役に立っています。

——セパレートタイプの使い心地はいかがですか？

菊地 セパレートタイプは、資料編を取り外せる点が魅力です。私はよくお客さまにアドバイスする際、資料編そのものや、必要部分を拡大コピーしたものをお見せするのですが、使い勝手が良い助かっています。

また、「スケジューリング管理は自身が使い慣れている手帳やスマホで行いたい」という職員からのニーズも多かったため、2018年にセパレートタイプが発売されたときから、採用させていただいています。

見せたいページに付箋をつけ
スムーズな提案に活かす

——お客さまとの面談時には、どのように手帳を活用しているのでしょうか？

菊地 私は、訪問前、「その日想定される会話」の内容を考え、その内容に関連する情報が掲載されているページに付箋をつけておき、スムーズにご提示できるようにしています。

想定していなかった内容に会話が及んだ際も、手帳にインデックスが付いているので、すぐに探したい部分が見つけられる

のは便利ですよね。

——面談時によく使われるページはどこでしょうか？

菊地 「タックスプランニング」にある所得税や相続税の速算表はよくお客さまにお示しします。この分野はお客さまからの相談も多いですから。また、毎年更新される社会保険分野の細かな数字についても、資料編で正確な数値を補完しながらお伝えすることにしています。

——相談される内容ではなく、会話のネタとしてよく使っているのは「タックスプランニング」



JF共水連製作の営業推進ツールとFP手帳セパレートタイプ

にある医療費控除の対象となる医療費、ならない医療費の表です。「虫歯の治療」や「治療としての歯列矯正」も医療費控除の対象となる点など、お客さまに身近なテーマは関心が高く、会話が広がります。

——最後にFP手帳について要望があればお聞かせください。

菊地 JF共水連では、共済を提案する際、お客さまの理解を深めるため、「結婚・相続までの流れとそれぞれにかかるお金の相場」や「書き込めるライフイベント表」など営業推進ツールを見せながら、いつ・誰にどのくらいの資金が必要か、またそのタイミングで必要な共済はどんなタイプかについて一緒に考えていきます。ですから、FP手帳にもライフイベント表などのツールがあると、より利便性が増すと思います。

（聞き手・構成 福田祥平）